



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
かかわる力	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒にあいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じたあいさつの仕方を知らせる。
	あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達や、遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになる。 みんなと一緒に過ごす楽しさを感じるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 優しい言葉、うれしい言葉を生活の中で多く使う。 一緒に遊ぶ友達と同じ動きを楽しんだり、同じ物を持って喜んだりする気持ちに共感する。 保育者や友達と触れ合いがもてるように、簡単なルールのある集団遊びを取り入れ、みんなで遊ぶことが楽しいと感じられるようにする。 友達とのトラブルでは、「嫌だったね。」「使いたかったんだよね。」など、幼児の気持ちを受容する言葉を掛けたり、相手の気持ちにも気付かせたりする。
	人とかかわる		
きまりや約束を守る	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方やきまりが分かるようになる。 自分の思いどおりにならないこともあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要なきまりについて、視覚的に示したり、理由を考えさせたりして、繰り返し伝える。 一緒に遊ぶ中で順番を待つことや交代で使うことを知らせる。 気持ちを受け止め、「こうしなかったんだよね。」と共感したり少し距離を置いたりしてかかわりながら、気持ちを切り替えられるようにする。 	

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)	
	<ul style="list-style-type: none"> 大人がモデルになってあいさつの心地よさを繰り返し知らせましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 親子でも優しい言葉のやりとりや触れ合いを多くし、人との心地よいかかわりを増やしましょう。 話を聞く中で、いろいろな友達の名前が出てくるようになります。友達は楽しい存在という気持ちに共感しましょう。 友達と一緒にがうれしい時期なので、「友達と一緒にいいね。」「同じだね。」と言葉を掛けたり、温かく見守ったりしましょう。 主張が通らないと手が出るなど、友達同士のかかわりの中で気になることが出てきます。最初からトラブルを避けるのではなく、かかわり方や必要な言葉を繰り返し知らせ、子どもが体験していく中で学んでいくことが大切です。
	<ul style="list-style-type: none"> してよいこと、悪いことがあることをその都度知らせましょう。なぜ、その行動をしたのかを聞き、周囲にどのような影響があるかを伝え、どうすればよかったのかを一緒に考えましょう。 順番を待ったり交代で物を使ったりする機会をつくりましょう。「待っていると自分の番がくる」ということを知らせると、安心して待てるようになります。 物事を自分でしようとするのは自律への一歩です。子どもの気持ちを汲み取り、見守る方法もあります。